

体育研究所活動概要

平成 6年 5月

体育委員会構成員名簿

平成 6年 5月 1日

委員長	体育研究所長	森 下 孝
委 員	文学部長	関 場 武
	同 日吉主任	末 吉 雄 二
	経済学部長	飯 田 裕 康
	同 日吉主任	田 中 淳 一
	法学部長	倉 沢 康一郎
	同 日吉主任	深 田 甫
	商学部長	黒 田 昌 裕
	同 日吉主任	湯 川 武
	医学部長	細 田 泰 弘
	同 日吉主任	沼 崎 雅 行
	理工学部長	安 西 祐一郎
	同 日吉主任	中 野 圭 二
	体育研究所教授	橋 本 治 雄
	同	今 栄 貞 吉
	体育会理事	池 井 優
	保健管理センター所長	永 野 志 朗

以 上

1 はじめに

体育研究所は各学部の保健衛生、体育理論、体育実技の授業を担当する独立した組織として、昭和36年に設立されました。

本研究所には、現在19名の専任教員がおり、保健体育の授業を担当するとともに、それぞれの専門領域に関する研究を行っています。さらに、塾生のスポーツ全般に関する相談にも応じ、健康維持、体力向上のための指導にも努力しています。

2 平成6年度実施の新カリキュラムの履修方法と各学部履修者数について

① 履修方法

平成6年度の保健体育の授業は、保健衛生、体育理論、体育実技Ⅰ、体育実技Ⅱに分かれ、各半期1単位を認め、各学部によって必修又は選択とし、単位取得数の上限は文4、経6、法16、政24、商4、理2単位、となっています。

② 平成6年度各学部の履修者数は、以下の通りです。

体育実技Ⅰ（春）

	文	経	法	政	商	医	理	計
男	207	621	340	315	477	6	821	2,787
女	272	34	130	88	78	0	98	700
計	479	655	470	403	555	6	919	3,487

体育実技Ⅰ（秋）

	文	経	法	政	商	医	理	計
男	180	564	311	315	418	2	599	2,389
女	229	39	119	85	81	0	55	608
計	409	603	430	400	499	2	654	2,997

体育実技Ⅱ（シーズンスポーツ）

	文	経	法	政	商	医	理	計
男	106	378	122	188	301	6	588	1,689
女	187	56	63	74	49	0	127	556
計	293	434	185	262	350	6	715	2,245

保健衛生（春）

	文	経	法	政	商	医	理	計
男	45	43	24	25	59	0	6	202
女	86	7	11	7	10	0	1	122
計	131	50	35	32	69	0	7	324

保健衛生（秋）

	文	経	法	政	商	医	理	計
男	11	35	7	6	35	1	1	96
女	18	3	2	6	4	0	0	33
計	29	38	9	12	39	1	1	129

体育理論（春）

	文	経	法	政	商	医	理	計
男	15	38	14	12	27	1	4	111
女	19	4	3	0	0	0	0	26
計	34	42	17	12	27	1	4	137

体育理論（秋）

	文	経	法	政	商	医	理	計
男	17	38	13	5	28	0	0	101
女	5	1	4	2	1	0	0	13
計	22	39	17	7	29	0	0	114

3 平成6年度 保健体育科目授業時間数及び担当者数

保健衛生	授業時間数	10コマ/週	
	担当者数	9名（専任1、兼担8）	
体育理論	授業時間数	8コマ/週	
	担当者数	6名（専任6）	
体育実技Ⅰ	授業時間数	（春）134/週	（秋）133/週
	担当者数	37名（専任19、非常勤18）	
体育実技Ⅱ	男子	夏期 35種目	冬期 2種目
	女子	夏期 28種目	冬期 2種目

4 体育実技

体育実技は、保健管理センターが行う「健康診断」を受けた後、その「判定」により各種目の履修が可能になります。

① 体育実技 I (ウィークリースポーツ)

週1回、半期履修することにより1単位が認められます。種目は下記の種目から選択できます。

ゴルフ	ラクロス	ダンス
サッカー	合気道	ホッケー
ソフトボール	剣道	ニュースポーツ
卓球	柔道	陸上競技
テニス	エアロビクス	リズムエクササイズ
ハンドボール	キャリスセニックス	リハビリコース
バスケットボール	軽スポーツ	ジョギング
バドミントン	水泳	
バレーボール	シンクロナイズドスイミング	
野球	体力アップコース	

(27種目)

② 体育実技 II (シーズンスポーツ)

夏期、冬期休業中7日間(原則として合宿種目は3泊4日)履修することにより各1単位が認められます。種目は下記の通りです。

アメリカンフットボール	バドミントン	少林寺拳法	山岳
サッカー	バレーボール	柔道	自動車
バスケットボール	硬式野球	相撲	重量挙
ハンドボール	ソフトボール	フェンシング	新体操
ホッケー	軟式野球	ボクシング	立科スポーツ
ラグビー	合気道	洋弓	ダンス
卓球	空手	レスリング	馬術
テニス	弓術	器械体操	陸上競技
ソフトテニス	剣道	ゴルフ	水泳
端艇	ヨット	スキー	スケート

(40種目)

体育研究所 専任教員名簿

(平成6年4月1日 現在)

職 位	氏 名	担 当 科 目	研究分野・(研究テーマ)	所 属 学 会	出身大学
教 授 (3)	森下 孝	体育理論 軽スポーツ	体育方法学 (中高齢者の体力と運動処方)	日本体育会 日本解剖学会 日本体力医学会	立正大学
	橋本 治雄	保健衛生 判定Ⅱ	運動生理学 スポーツ外傷・内 因性疾患学 (スポーツ外傷 鑑医学)	日本解剖学会	慶応義塾大学 大学院
	今采 貞吉	体育理論 キョリスセニクス	運動生理学 (身体組成と行 動力学)	日本体育会 解剖学会 日本体力医学会	東京学芸大学
助 教 授 (5)	高嶺 隆二	水泳 フィットネス トレーニング	体育管理学 体育方法学 (体育指導の法的範囲・水泳の指導法)	日本体育会	慶応義塾大学
	近藤 明彦	サッカー 陸上競技	体育心理学 運動生理学 体育方法学(全身選択反応時間、子供の選 動能力、ウォーミングアップ)	日本体育会 日本体力医学界 日本スポーツ心理学会	日本大学 大学院
	安藤 勝英	柔 道 体力アップコース	運動生理学 (TAPING:膝部のリハ ビテーション)	日本体育会 日本武道学会 日本体力医学会	日本体育大学
	篠原しげ子	バスケットボール リズムクサイズ	運動生理学 (運動が性周期 に及ぼす影響)	日本体育会 日本生理学会 日本体力医学会	お茶の女子大学
	植田 史生	剣 道 卓 球 ソフトボール	体育方法学(剣道における基礎研究・法的 的研究)	日本体育会 日本武道学会 日本スポーツ心理学会	慶応義塾大学
専任講師 (6)	清水 直臣	柔 道 ゴルフ	体育方法学 発育発達(オース トリアのスキー 中高級の器械・研究)	日本体育会	拓殖大学
	松田 雅之	陸上競技 卓 球 フィットネス	運動生理学 体育方法学 (レッグパワーが諸体力因子に及ぼす影響)	日本体育会 日本体力医学会	慶応義塾大学
	綿田 博人	野 球	体育方法学 (野球における打撃:投球 のタイミングの研究)	日本体育会	慶応義塾大学
	佐々木玲子	バドミントン ダンス バスケットボール	運動生理学 バイオメカニクス発育発達 (動作調整能力の発達・時間的調整を中心として)	日本体育会 比較解剖学会 日本体力医学会 日本バイオメカニクス学会	お茶の女子大学
	石手 靖	バレーボール サッカー フィットネス	体育方法学 (バレーボール選手のソフ ト運動に関する研究)	日本体育会	慶応義塾大学
	山内 賢	バスケットボール ハンドボール キョリスセニクス	バイオメカニクス 体育方法学 数理戦術論 (武道における技術体系化、 審判と得点)	日本体育会 日本スポーツ方法学会 日本オレーションズ学会	日本体育大学 大学院
助 手 (2)	吉田 泰将	剣 道 クロストレー ニング ソフトボール	体育方法学 (剣道における心拍数変動の 研究、トレーニング要素と傷害の可能性)	日本体育会 日本武道学会	筑波大学 大学院
	加藤 大仁	バスケットボール	体育社会学 (ソ連政権が学校教育及びス ポーツ組織に及ぼしている政治的社会的)	ソ連・東欧学会	慶応義塾大学 大学院
助 手 (嘱託) (3)	村山 光義	バレーボール ニュースポーツ ソフトボール	スポーツ医学 運動生理学 バイオメカニクス (筋硬直の生理 学スポーツ医学的意味について)	日本体育会 日本生理学会 日本体力医学会 日本スポーツ 教育学会 日本健康増進学会	順天堂大学 大学院

職 位	氏 名	担 当 科 目	研究分野・（研究テーマ）	所 属 学 会	出身大学
助 手 （専任）	斎藤 健司	バドミントン 軟球 バレーボール キョロセニックス	体育学・スポーツ科学 （フランスにおけるスポーツ基本法の成立と展開に関する研究）	日本体育学会 日本スポーツ法学会 日本スポーツ史学会 日本スポーツ産業学会 日本体育・スポーツ経営学会 日本体育・スポーツ行政研究会	筑波大学 大学院
	野口 和行	バドミントン バレーボール ニュースポーツ リハビリコース	体育方法学（野外活動・レクリエーション） 野外活動の指導者に関する研究	日本体育学会 日本レジャー・レクリエーション学会	東京学芸大学 大学院